

果樹農家のみなさまへ、時季ごとの耳より情報をお届けします

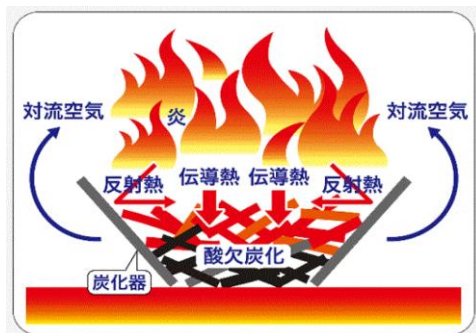


果樹園のせん定枝の有効利用により 地球温暖化抑制に貢献する



- **CO₂（二酸化炭素）**が大気中に多くなり**地球温暖化**の原因となっています。この問題について**山梨県**が行っている取り組みについて紹介します。
- 全世界の**土壌中**には9000億tという膨大な炭素が存在し、大気中のCO₂と吸収と放出を繰り返し、絶えず入れ替わっています。
- **4パーミルイニシアチブ**とは、土壌の炭素量を**毎年0.4%蓄積**することにより大気中のCO₂増加分を帳消しにして、**実質ゼロ**にする考え方に基づく国際的な取り組みです。なお、パーミルは千分の1を意味します。
- 2015年12月の**COP21（国連気象変動枠組条約締結会議）**でフランス政府が提案し、2020年9月現在、日本国を含む489の国や国際機関が参画しています。日本の都道府県では山梨県が**はじめて参加**しました。
- 現在、目標の達成に向けて、参画する国や地域が、それぞれに**できる取り組み**を実行しています。
- 山梨県では、やまなし**4パーミル・イニシアチブ農産物等認証制度認証基準**を定め、取り組んでいます。
- 土壌への炭素貯留効果が算定できる基準は以下です。
 - ① **草生栽培**による雑草投入
 - ② 堆肥、土壌改良材等の**有機物を含む資材**の投入
 - ③ 生産圃場内で発生する**剪定枝等の作物残渣**の投入
 - ④ 生産圃場内で発生する剪定枝等の作物残渣を原料として製造した**バイオ炭**の投入
 - ⑤ その他土壌への炭素貯留が**確実に見込まれる**取組
- 特に炭素貯留効果が大きい方法として**剪定枝の炭化**（バイオ炭）技術に新たに取り組み、「環境に優しいくだもの」として**新ブランド**を目指しています。

果樹園と4パーミルイニシアチブ



無煙炭化器によるバイオ炭づくり
(株)モキ製作所 HPより